

安倍 9 条改憲・消費税の増税反対!!

過積載の根絶、単価の改善をめざし、全組合員参加の強大な建交労ダンフ支部の建設に奮闘しよう!

ダン プ 通 信

広島のダンプ労働者の新聞



写真は大会に参加した組合員 (左) と小林議長に代わり挨拶する坂井昇副議長、その右は武田事務局長 (5 月 26 日・広島国際ホテル)

建交労広島ダンフ支部は五月二十六日(日)広島市内で第三五回定期大会を開催しました。大会には執行部と組合員合わせて五一人が参加、「エバー運輸企業組合」の第一五回通常総会も開催、経過報告、運動方針など採択し新しい役員を選出しました。

広島ダンフ支部が第35回定期大会開催 武田喜成事務局長が運動方針など提案

大会では冒頭、この一年間に亡くなった二名の組合員のご冥福を祈り「黙祷(もくとう)」を行いました。

小林議長に代わり坂井昇副議長が挨拶を行いました。坂井副議長は、昨年七月の「西日本豪雨災害」にふれ、ダンフの組合員が災害復旧工事に出動して奮闘したこと、そして呉の災害土砂撤去では呉市にダンフの過積載防止や長時間運転の是正指導で成果があったことを強調するとともに、秋に予定されている消費税の増税について組合は反対して運動することなど呼びかけました。

武田喜成事務局長が経過報告と二〇一九年度の運動方針、予算案を提案し、山田昭夫特別執行委員が二〇一八年度の会計報告を行いました。(新執行部は裏面に掲載)

大会では二〇一八年度の経過報告と会計報告、会計監査報告、一九年度の運動方針案と予算案などを拍手で採択するとともに新年度の執行部体制についても選出しました。

エバー運輸企業組合第一五回通常総会では、経過報告・決算報告、会計監査報告、新年度事業計画および新年度予算について拍手で採択、新年度役員体制を決定しました。

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
広島ダンフ支部

〒730-0853
広島市中区堺町一丁目二九三〇三
TEL (082) 235-3051
FAX (082) 235-3051
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp



写真は運動方針を提案する武田喜成事務局長 (5 月 26 日・広島国際ホテル)

五月二五日に来日したアメリカのトランプ大統領にたいして安倍政権は、まさに「接待漬け」外交(毎日新聞)により、トランプ大統領との親密振りを見せて付けて、参議院選挙を前にして、「日米外交はうまく行っている」「貿易交渉も参議院選挙後の印象を与えるなど国民をごまかして、選挙を乗り切ろうとしています。

「Tppに縛られない」貿易交渉で参院選後には日本に開税引き上げ迫る?

しかし、二七日の共同記者会見やトランプ大統領の「ツイッター」(つぶやき)などからわかってきたことは、「TPPは関係ない」「八月にいい発表」と言っていることから、来年の大統領選挙をにらみ参院選後の貿易交渉で、日本にたいして農産物の輸入品への「関税撤廃」などをせまるものと考えられます。

徒然草

■5月3日の「憲法記念日」に広島市で講演したニュースキャスターの金平茂紀氏は、平成の天皇が沖縄に慰霊に何度も足を運ばれ、県民をねぎらう姿勢を示したことが、安倍内閣の辺野古埋め立てに見られる沖縄県の民意を無視した強権姿勢に対する県民の怒りを和らげることになってはいないか、と指摘された▼現実、それでオール沖縄の怒りの行動が弱まることにはなっていないが、安倍内閣としてそうした思惑がないとは言えないと思う▼憲法では「天皇の国事に関するすべての行為には、内閣の助言と承認を必要とし、内閣が、その責任を負ふ」とあり、天皇が沖縄や災害の被災地に訪れる費用や警備などすべて内閣の意思が働くことは当然のことだ。しかし、何かしら安倍内閣の酷(ひど)さに比べ、天皇のとられた姿勢にホッとする気持ちがあることも確かである。天皇は安倍首相を嫌っているなどの週刊誌の記事も同じだ▼少なくとも1500年以上続いた「天皇」は日本では権威だが、それを権力が利用する動向は江戸時代末からずっと続いている◆4月30日から5月1日の退位・即位のための法外な費用(166億円)はまさに自公政権による天皇の政治利用で、それは国民主権の日本国憲法無視に外ならない。(T)

働く者の団結で、憲法と暮らしを守ろう

第90回メーデー広島中央集會に8百人

5月1日(土)働く者の祭典第90回広島県中央メーデー集會が中区ハノーバー庭園で開催されました。五月晴れの晴天のもと参加者は市内2か所に集合して、プラカードやデコレーションなどにぎやかなデモ行進で会場に到着しました。

メーデー実行委員会を代表して広島県労連の神部泰議長が挨拶、「アベ政権の暴走、アベノミクスで貧困・格差が広がり、働く者のくらしと権利が脅かされている。憲法9条改憲・戦争する国づくりを強行するアベ政権を退陣させよう」と力強く訴えました。

安倍9条改憲許さない闘いの強化を

来賓あいさつでヒロシマ総がかり行動実行委員会共同代表の山田延廣弁護士は「憲法9条改憲を許さないために来るべき参議院選挙での野党共闘と「安倍9条改憲反対」の3千万署名の取り

組みの強化を訴えました。

天皇退位・即位のお祝い一

色に(メーデーの日)

すでに決まっていたことではありましたが、今年の5月1日は、前日の天皇(生前)退位、そして一日の新天皇即位と重なり、マスコミ報道も、まさにメーデーなどどこ吹く風で天皇報道一色となりました。四月一日には新元号「令和」が発表され、新聞でも競って「号外」が出されるなど、アベ政権とマスコミが一体となって、元号改変や天皇退位・即位の儀式を報道、まさに天皇の政治利用と言わねばなりません。

元号が変わったからと言って「新しい時代」にはなりません。公文書の改ざんも平気でやる「アベ政権の悪行もすべて昔のこと」にしてはなりません。



メーデー会場で、争議を闘う仲間の紹介と激励、下は建交労の組合旗の周りに集合した建交労の参加者

5月なのに北海道佐

呂間町で39.5度!

驚く猛暑!熱中症にくれ

ぐれもご注意を!!

5月26日(日)に驚いたことには、北海道北端の佐呂間町で、5月なのに39.5度の「猛暑」を記録、5月中のこれまでの猛暑の記録は埼玉県秩父市で1993年5月に記録した37.2度だからこれを一举に2度以上も上回る恐るべき猛暑記録である。熱中症はもちろん、大気が不安定になり豪雨の恐れもあるとの予報も。

広島ダンプ支部の新執行部

議長	小林豊	副議長	坂井昇	副議長	岩男昭	事務局長	武田喜成	執行委員	西村幸一	谷田芳樹	前田健治	空秀樹	住吉治	郷田太	会計監査	郷田太	
理事	山田昭夫	理事	小林豊	理事	坂井昇	理事	岩男昭	理事	武田喜成	理事	牛黄耆晃	理事	武田勝次	理事	関元武士	監事	重光貴行

※ゴシック体の文字は新任です。

組合活動日程

- 五・三一 ダンプブロック会議
- 六・一 建交労全国青年部交流会・青年部委員会(二日・福岡)
- 六・六 建交労広島県本部執行委員会
広島県労連幹事会
- 六・一四 建交労学校(一六日)
- 六・一五 企業組合福山定例会(参画センター)
- 六・二二 広島ダンプ支部合同役員会
広島県労連評議員会
- 六・二六 ヒロシマ労連評議員会
- 七・四 広島県労連幹事会
- 七・一三 企業組合広島定例会
- 七・二〇 企業組合広島定例会
- 七・二七 広島ダンプ支部合同役員会
- 八・三 反核トラックキャラバンが広島に到着
- 八・四 国民平和大行進が平和公園に到着
- 八・六 被爆七四周年(広島原爆の日)
原水爆禁止世界大会・ヒロシマ
- 八・九 長崎原爆の日
原水爆禁止世界大会・ナガサキ
- 八・一七 企業組合福山定例会
- 八・二四 広島ダンプ支部合同役員会
- 八・三一 建交労第二回全国大会(九月二日)



(組合員拡大のために作成した宣伝チラシです)